

念願の1勝は持ち越し

全日本大学 野球選手権

金沢学院が2度目出場

東京ドーム 関東学院に逆転負け

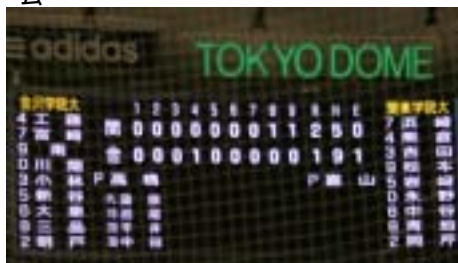
第56回全日本大学野球選手権に4年ぶり2度目の出場を果たした金沢学院大学チームは大会初日の6月12日、東京ドームで関東学院大(神奈川)との1回戦に臨みましたが、1、2で逆転負けし、初勝利はなりません。エース高橋が強力打線を散発5安打に抑える力投を続け、バックも再三好守を見せて盛り立てたものの、打線が9安打で1得点と決定打に恵まれず、念願の1勝は秋の大会以降に持ち越ししました。



先制の中前打を放った新谷選手。東京ドーム



試合に先立って、神宮球場で行われた開会式では、金沢学院大学ナインが堂々



試合結果を表示するスコアボード

力投した高橋選手



ベンチ前で作戦の指示を仰ぐナイン

の行進をしました。試合では野球部員、OB、父母や出身校の同窓生ら約



声援を送る応援席の野球部員とプラスバンド(後方)

二百五十人がスタンドに陣取り大声援を送りました。

北陸の景気は緩やかに回復

山崎財務局長が特別講義

金沢学院大学経営情報学部の特別講義が六月七日、4号館講堂で行われ、北陸財務局長の山崎康史局長が「写真左」が「経済の現状と課題」北陸を中心に」と題して北陸地域の経済情勢や



山崎局長は、過去の好景気と現在の景気について、GDP(国内総生産)や有利子負債、設備投資、雇用、企業収益、賃金などのグラフを使って説明しました。北陸の経済動向については、一部に弱い動きが見られるが緩やかに回復との情勢を各種データで解説し、小松市や能登地区の地域における人材育成の取り組みなどを紹介しました。

日本語学が外国人と交流

金沢学院大学文学部の学生と外国人日本語学習者との交流会が六月十一日、2号館教室で開かれました。外国人は米コロラド州にある士官学校生ら三十四人が来訪し、文学部で日本語教育実習を受講している学生がホスト役を務めました。参加者は用意された「日本の若者文化・資料集」の内容に沿って料理やファッション、スポーツ、若者言葉、アニメ、音楽などを話題にグループごとに談笑を繰り広げました。



外国人と交流する文学部生 = 2号館

17日オープンキャンパス 金沢学院大学・短期大学の2007オープンキャンパス第一回は六月十七日に開かれます。学部・学科説明会、オープン授業、キャンパスツアー、学食体験、相談コーナーなどが予定されています。

発行・広報室